

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【公表番号】特表2006-520853(P2006-520853A)

【公表日】平成18年9月14日(2006.9.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-036

【出願番号】特願2006-507000(P2006-507000)

【国際特許分類】

C 2 2 B	9/05	(2006.01)
C 2 2 B	21/00	(2006.01)
C 2 2 B	26/12	(2006.01)
B 2 2 D	23/00	(2006.01)
B 2 2 D	21/04	(2006.01)

【F I】

C 2 2 B	9/05	
C 2 2 B	21/00	
C 2 2 B	26/12	
B 2 2 D	23/00	B
B 2 2 D	23/00	C
B 2 2 D	21/04	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月6日(2007.3.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

溶融反応性金属を処理して、空気中の酸素との反応から前記反応性金属を保護するための方法であって、溶融反応性金属を提供するステップと、ペルフルオロケトン、ヒドロフルオロケトン、およびこれらの混合物からなる群から選択されるフルオロカーボンを含むガス状混合物に前記反応性金属を曝露させるステップと、を含む方法。

【請求項2】

前記フルオロカーボンが、ペルフルオロケトンである、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ガス状混合物が、さらに、キャリヤガスを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記反応性金属が、アルミニウム、リチウム、およびアルミニウムまたはリチウムのうちの1つまたは複数の合金からなる群のうちの少なくとも1つを含む、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

空気中の酸素との反応から、露出表面を含む溶融反応性金属を保護するための方法であって、

(a) 溶融反応性金属を提供するステップと、

(b) 前記反応性金属と、ペルフルオロケトン、ヒドロフルオロケトン、およびこれらの混合物からなる群から選択されるフルオロカーボンを含むガス状混合物とを接触させるステップと、

(c) 前記反応性金属の表面にフィルムを形成するステップと、
を含む方法。

【請求項6】

前記ガス状混合物が、さらに、キャリヤガスを含む、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

マグネシウムの表面の炎を消火するための方法であって、ペルフルオロケトン、ヒドロフルオロケトン、およびこれらの混合物からなる群から選択されるフルオロカーボンを含むガス状混合物と、前記表面とを接触させるステップを含む方法。